



発行所  
 (公財)愛媛県教育会  
 〒790-8545  
 松山市祝谷町1丁目5-33  
 エスポワール愛媛文教会館内  
 電話 (089) 945-8644  
 F A X (089) 945-1459  
 E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

謹賀新年  
 (公財)愛媛県教育会  
 理事長 田鍋 修  
 役員 田鍋 修  
 役員 一同

# 新年 頭上 乃花 可奈

題字 扒上頭耳花乃零可奈 揮毫 西条教育会OB 國田 典良 解説は3面

## 新年明けましておめでとーございます。

### 『チーム愛媛で公益を』



公益財団法人愛媛県教育会  
 理事長 田鍋 修

甲午の年頭に当たり二〇一三年を振り返り、新しい年を展望してみました。

まず、二〇二〇年の五輪招致が東京に決定した瞬間、日本中が沸きました。そのプレゼンには、チームジャパンで臨み、堂々とした中にも奥ゆかしさがあり実に圧巻でありました。

皇室からは、高円宮久子様  
 が、各国から受けた震災復興支援に対し、気品あふれるお言葉でお礼を述べられました。続いて、パラリンピック選手の佐藤真海さんが、足の切断をスポーツの力で克服した体験を力強く語り、しかも震災した故郷へ笑顔でエールを送りました。また、滝川さんは、見返りを求めず、互いに

助け合い、お客様を大切に迎える「おもてなし」の心を世界に向けて発信しました。

誰かのために尽くす他者との共生、日本の文化、日本人の心を訴え共感を得ました。日本人としての誇りを実感するとともに、六年先の東京五輪に、三年後の愛媛国体に心が躍りました。スポーツには夢を育み、人々の心を奮立たせる力があります。

昨年のプロ野球日本シリーズは、被災地のために全員野球で戦った楽天イーグルスが見事日本一に輝き、東北の子どもたちに元気と勇気を、日本中に夢と感動を与えました。県内においては、えひめ教育の日の推進や子どもの舞台

芸術体験、無人島自然体験等の事業を教育会を含め関係機関・団体、経済界やNPO法人等が一体となって、子どもの笑顔のために社会総がかりで各種事業を展開して参りました。その他にも、個人の立場やグループで子育て相談や学校支援等、ボランティアの輪が広がった一年でありました。国が目指す教育は、世界のトップリーダーとして社会に役立つ人材の育成を強く打ち出しています。また県では、職員に「職務プラスワン」の社会貢献を奨励しています。折しも我が教育会は、昨年一月に公益財団法人に認定され、子どもたちの笑顔のため、人々の幸せのための公益事業即ち社会貢献が強く求められることとなりました。

午年の今年「万事塞翁が馬」の心でさらなる公益性を追求し、未来へ繋いでいきたいものです。各位のさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。



(大倉可貴先生・画)

世界で流行の家庭用テレビゲーム機。この製造販売会社「N堂」が、実は明治二十二年創業の老舗であるとは意外であった。京都には創業千年の商家、企業が二十軒以上。「N堂」のように百年以上となると七百軒を超す▼世界的に企業の平均寿命は二十余年。その中で、なぜ日本に老舗が多く、持続性があるのか。その要因の一つに伝統的な「家制度」がある。日本人にとって「家」はマイホームではなくカンパニーであった。マイホーム主義はときに家族エゴに陥る。「子どものため」「家族のため」と、社会性をとことん失っていく。給食代を払わない、親が養い続けるニート  
 の存在も、閉じられたマイホーム観の結果か。家庭には、子どもを社会に送り出す重要な社会的機能がある▼二つには、老舗企業が大切にした地域社会との信頼関係。その上、家庭教育にも通じる「家訓」がある。「おごることなかれ」「分をわきまえろ」「乱造するなかれ」人間の成長の過程での原点回帰の重要性や「家」の社会的責任を示している。老舗の多くが「家」で継続されている、この意味をもう一度考えてみたい。

### 聞きょう響

# ひとこと 遊ぼう



教育会 附属会 会長  
安田 智美

縁あって幼稚園教育に携わるようになり、にぎやかな子どもたちの声が響く中で、土や水に触れ、光や風を感じながら、毎日を過ごしています。この生活は、私にとって大切なことを教えてくれる貴重な日々で、その一つに、「自発的活動としての遊び」があります。

「早く昨日の続きしよう！」朝登園するやいなや、友達を誘って砂場で温泉作りを始め、年長さん。蛇口から樋をつないで水を引き込んでいます。

子どもたちは夢中で遊んでいるだけですが、そこには、成長や発達にとって重要な体験がたくさん含まれています。樋を支える台の位置、樋

の組み合わせ方、その斜度：試行錯誤の過程に科学的な原体験があります。また、トラブルで味わう怒り、悲しみなどの体験から、友達は自分とは違う主張や感情をもった存在であることに気付き、一緒に楽しく遊びたいために、葛藤を乗り越え、自分の気持ちを調整していくことを学ぶのです。

ここに挙げたのはほんの一例です。子どもが夢中になっている様々な遊びの中には、多様で貴重な体験が山ほど含まれているのです。

遊びの大切さをひしひしと感じている毎日ですが、果たして今の小・中学生がそのような体験を十分経て今に至っているのだろうかと不安になります。自由に遊ぶ時間が保障されていないか、必要以上にトラブルから守られていたりするケースがあるように思います。幼児期には、好奇心に基づく直接的な体験が得られ、友達と十分に関わる生活を送らせてあげたいと切に願う今日この頃です。

(愛媛大学教育学部附属幼稚園副園長)

## 学校紹介

No.145

### 四国中央市立三島東中学校

#### 知恵だせ・声だせ・汗だせ

四国中央市は、愛媛県の最東部に位置し、南は法皇山脈、北は燧灘に面しており、人口約八万八千人の市です。本校が位置する伊予三島地域は日本屈指の紙の町と呼ばれ、製紙業とその関連企業が多く立地する地域です。校区には、映画「書道ガールズ」の舞台となった四国中央市役所や三島公園、中通り商店街などがあります。

昭和四十八年に、男子バレーボール部が全国大会優勝という輝かしい戦績を残す本校は、生徒のほとんどが部活動に所属し、毎日、朝夕にグラウンドや体育館から元気な声が響く部活動の盛んな学校です。平成十八年に新築された近代的な校舎の中で、全校生徒四百九名が、生徒像である「知恵だせ・声だせ・汗だせ」を実践し、元気いっぱい活動しています。

本年度の四国中央市総合体育大会では、サッカー、バスケット男子、バレー女子、卓球女子、剣道女子が優勝し、剣道男子、柔道男女が準優勝、個人での県大会出場者も多数出しました。また、柔道女子（個人）は全国大会第三位という成績も残しています。校庭に鎮座する十数本の石碑は、全国大会出場を記念し、保護者の協力で建立したものです。

次は、本校の代表的な活動



として体育祭での全校生徒による応援合戦があります。生徒会が中心となり縦割りでの応援合戦を披露する活動です。三年生は一学期から団長、副団長、太鼓係等の応援リーダーを選出し、応援リーダーを中心に個性あふれる応援の振付を考えます。そして

二学期が始まると、放課後に一、二年生に教える活動を始めます。練習から本番にかけて一、二年生を指導する三年生は日々成長し、本当にたくましく、学校のリーダーとしての自覚を感じます。体育祭応援合戦は、保護者をはじめ地域の方々からも期待され、伝統ある活動として賞賛されています。

これからも、「知恵を出し、声を出し、汗を出す」活動を通して、本校の教育目標「命を輝かせる生徒の育成」を目指します。

(教頭 大久保 浩)

題字に寄せて

扒上頭耳花乃掣可奈



五百亀記念館長 國田 典良

「えーっ！あの『小林一茶』が、二百十八年前、西条の、この小道を桜見物に行くために歩いたって？…もつともつと知っていたら、もつともつと大きな感動を子どもたちと分かち合えたのに…。」

これは、西条教育会主催の一茶句碑めぐりに寄せていただいた時の、鳥肌の立つ感激と悔いの眩きです。

寛政七年旧曆二月廿二日、一茶が、西条市立大町小学校の正門前にあった旅籠「岸田屋」に泊まり、伊會乃神社に参拝した折りに詠んだ句です。『はいじょうす』あるいは『おがみあぐ』頭に花の雫かなと読みます。

(西条教育会OB)

ふるさとに生きる

地域の活動に生きる



渡部英隆先生

渡部先生は地域の活動をなさっていますが、どんな活動がありますか。

「さくら山行会」に参加して、第二の人生を楽しもうと思つて……。さくら山行会とは、中高年の山歩きの会。東温アルプスや四国の主な山は踏破しています。退職後の健康管理には体力の維持が必要です。そのために、重信川の河川敷を一時間以上毎日あるいています。また、百名山に登っている夫婦の方に出会つてからは、富士山を始め北アルプスなど日本の百名山に登っています。特に、富士山でのブロッケン現象は山に登った人でないと味わえない思い出となっています。槍ヶ

訪問者

南 條 勝 利

(東温市教育会会長)

岳の逆さ槍・剣岳のカニの横這い等自分への挑戦を成し得た成就感を味わっています。

「自然と共に生きる会」は、

相原俊雄先生の人生の集大成として東温市南方の河川敷に二万㎡の広大な森林づくりを行っているプロジェクトです。

「冒険夢の森」と名付けて子どもたちの積極的な参加を呼びかけ、植樹活動を通して「自分の木」と共にその成長を記録していく壮大な計画です。子どもたちが植樹を通して、森づくりに参画し、樹木の成長や動植物の観察、自然との触れ合い等々、子どもたちの成長の過程にどう影響し変容していくかを見届けたい……。

No.74



冒険夢の森の活動

次に、地域住民との触れ合いを通して「くぼの泉公園」を作ったことです。重信・川内町の合併に伴い、南方西区の区長を仰せつかった。地域に今何が必要なのか。子どもたちは群れで遊ぶことを忘れかけている。自然の中で夢中になって遊ぶことのできる公園がほしい。市への交渉とともに住民への働きかけを通して、

学校生協

青山・はるやまカード会員ご入会のおすすめ

愛媛県学校生活協同組合連合会は、青山・はるやま、両店舗と提携店契約を結んでおります。どちらも組合員価格として、店頭価格より10%の割引が適用されます。

お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会 電話 (089-925-0555) または郡市学校生活協同組合

渡部 英 隆 先生 (73歳)

(東温市南方在住)

くぼの泉周辺の農地を借り受け、三千㎡に及ぶ自然公園ができたのです。市内の子どもたち・市外の親子連れ等多くの人たちが楽しんでいきます。地域の神社の氏子総代長をしています。近年「地域の祭りが若衆の地域離れで沈滞している。何とか……」。そこで「法被づくり」に捧げた一年であった。法被姿の若衆が気負う神輿の姿に地域の祭りが盛り上がりました。まだまだ残る課題に微力を尽くしたい。



# 特集 私の夢―新年への抱負―

## 今年の決意



中浜市長 大洲市校長 前野 隆裕

現職として迎えられる正月は、今年を含めて後三回になりました。まだ遠い先のことのように思っていただけに、月日の流れをとっても早く感じます。

そう考えたとき、今年の日標の一つが決まりました。「立つ鳥跡を濁さず」です。若いころに読んだ時代小説の中で、敗軍の将が城を明け渡す場面が印象に残っており、日本人が大切にしてきた美意識を自分も実践できる大人でありたいと感じた記憶があります。当時の一時的な気の迷いかもかもしれませんが、これまで実践できていない後ろめたさから、若いころの理想を思い出し、現職でいる間の決意

に結びつけてしまったのだろうと自分の気持ちを分析しました。

目標実現に向けた重点事項は、時間管理と健康管理です。仕事に追われるような精神状態では、実行不可能のようになってしまうので、毎朝その日の仕事を確認し、優先順位と手順を確認することから始めます。突発的な出来事にも対処できるように、ゆとりのある内に着手し仕上げるよう努めます。たとえば、提出締め切り日に原稿を書かなくとも良いように。

健康管理は、校内巡視を兼ねたウォーキングと庭木の手入れです。短時間でも毎日続けていけるよう努めます。

現職最後の日、肩の荷を安心して下ろせるように、後任に負担をあまりかけないように、そんな締めくくりを目指して二年余の日々を過ごしたいと願っています。

## 新年におもむ



中川小教諭 西予市教諭 櫻田 智美

社会人になり四半世紀が過ぎる今年、「自分がどうなりたいか」を考えたとき、魅力を感じる人が浮かんできた。「相棒」の杉下右京と作家の曾野綾子である。この二人の共通点は、曾野綾子の言葉を借りると「うまみのある大人」だということだと思う。

杉下右京は、他人の評価を気にせず、自分の信じる道をまっすぐ進んでいく。私も、今かかわっている特別支援教育と特命係の特を勝手に結び付け、「私にしかできないうまみのある仕事」ができる人になりたいなあと思う。

また、曾野綾子は近年の著書で、当たり前のことをきちんと行いながら年を重ねることのうまみを伝えてくれる。つつい生活が仕事に偏りがちな私の心に「家庭での生活（炊事・洗濯、掃除等）も大

切にする」「内面を豊かにする」という言葉が痛く響く。

そんな中、母の言葉がふと思い出された。「二十歳からの顔は、自分が作るんよ。自分の中にあるものがにじみ出てくるんじゃない。」季節の趣や行事を楽しみ、周りの全てを大切にしながら丁寧に生活していた母のうまみが甦る。私の教員採用を一番喜んでくれた母が亡くなって、もう二十三年がたつ。

その母を魅力ある一人にこそり加え、今年一年、一日一日を大切にしながら「自分のうまみ」を見つけていきたい。皆様にとっても、幸多きうまみのある一年になりますように。

謹賀新年

## 新年の目標



会教智越 今治・越智教育会 OB 稲田 守

私の新年の目標は三つあります。

一つ目は、「一日一万歩歩く」です。

毎朝犬の散歩後、ポケットラジオを聴きながらノルディック・ウォークで、一時間程歩いています。コースは泰山寺・栄福寺・蛇池など一週間分を決めています。家々の庭の木や花を見るのも楽しみの一つです。

スリーデーマーチに参加しました。昨年は雨の中を尾道から多々羅しまなみ公園まで、一昨年は多々羅しまなみ公園から吹揚公園まで、しまなみ海道八〇キロを歩きました。今年も参加する予定です。二つ目は、「七〇冊以上の本を読む」です。

昭和六二年度短期研修講座の講話の中で、牟田米生部長が「教師の自己学習のパロメーターは本代である」と話されました。現職時代は、月に二万円近くの本を買うこともありました。

退職後は、市立図書館をよく利用しています。好きな作家の読んでいない作品を読むのも楽しみです。

三つ目は「趣味を楽しむ」

です。  
読書・絵手紙・溪流釣り・庭木の手入れ・野菜作り・熱帯魚や鈴虫の飼育・ヨガ等を楽しんでいきます。

退職後ヨガを始めて、五年目になります。毎週一回、二十数人の中で黒一点、ヨガで体との対話を楽しんでいます。腰痛もずいぶん緩和されています。

今年、「新しいことに挑戦しよう」と思っています。

### 新年への抱負



新居 浜市 神郷小  
教諭 岡田 哲郎

年男となる節目の新年を迎え、今年目標を考えてみ

### 祝 受章・受賞おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

- 黒田 進様 88歳 元五十崎町立五十崎中学校長
- 渡邊 辰夫様 88歳 元川之江市立妻鳥小学校長
- 毛利 寛様 88歳 元吉田町立玉津小学校長

◇教育者文部科学大臣表彰

- 堀内 秀樹様 59歳 松山市立西中学校長
- 福本 純一様 59歳 東温市立川上小学校長

松山市 松山市

た。一つ目は、(長年の課題であるが)子どもたちの長所をより多く見つけることである。指導は必要であるが、それ以上に長所を見つけ、褒めることが十分できているか今でも不安である。常に意識していないと、短所ばかり見えてしまっている。誰でも頑張っていることを見つけられ、認められればうれしく、次の意欲につながる。私自身ももちろんそうである。これを一人でも多くの子どもたちにできるように心がけたい。

二つ目は、慣れや経験に安住しないことである。子どもたちを取り巻く環境は常に変化し、今までになかったことが起こる。情報機器に関わるトラブルを耳にすることも多い。しかし私自身は反応が遅く、周囲に新しいものが十分

広まった頃に、ようやく始める方である。自省の念を込め、新しいことを柔軟に受け入れるようにしたい。  
三つ目は、健康と体力の維持増進である。激しい運動は続かないが、最近はいただいた草花や魚の世話のため、土や動植物に触れながら身体を動かす機会がよくある。いい運動と気分転換になるので、このようなことができることを続けていきたい。

### 新年の抱負



松山市湯山小  
校長 大森 弘之

昨年四月に湯山小学校に転勤してきて九か月が過ぎまし

た。この緑豊かで人情味溢れる地域に来て、子どもたちの笑顔に触れる毎日が送れていることに感謝しています。

さて、新年を迎えるにあたっての抱負は「教員生活の原点に帰る。」ことです。これは、残り少ない教員生活となった現状を踏まえ、教員になった時の新鮮な気持ちを感じ出し、教育という仕事に関われる喜びをもう一度考え直したいと思うからです。「教育は理論ではなく日々の実践の積み重ね」という自分なりの考え方も、最後にしっかりと実働したいと思っています。

個人的な目標は三つあります。一つ目は、二十数年前に登山した富士山にもう一度登ることです。前回は高度が上がると、一歩一歩の足が出ない苦しみを味わいました。今の自分にはどのように感じられるか楽しみです。

二つ目は、「徳川家康」等いくつかの歴史小説を読み終えたいということ。例えば徳川家康は、単行本で第六巻まで読んだ後、ここ数年間読書が止まっています。これを再

謹賀新年

新しい年が皆さまにとりまして、良い一年でありますように！

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所  
〒790-8545 松山市祝谷町 1-5-33 I\*ワ\*ル愛媛文教会館 3F  
TEL 089-998-2141 <http://www.kyousyokuin.or.jp/>

開して、サイドテーブルに積み上げてある単行本の山を早く無くしたいと思うのです。  
三つ目は、趣味のスポーツで、今までのベストを出したいということ。年齢とともに練習量が落ち、向上が見られなくなっています。この現状を打破し自分の可能性を広げたいです。  
新年を迎えるに当たり、平成二十六年が、自分にとっても、自分の周りの人たちにとっても、エネルギー溢れる年となるよう実働していきたいと思っています。

第65回日連教長野大会記念講演(昨年八月開催)

演題 「悩む力と学ぶ力」

聖学院大学全学教授

姜 尚中 先生

報告者



松山市新玉小 教頭 渡部 光治

はじめに

私たちは、外部の目を常に意識せざるを得ない中、日々の業務をこなしていく中で様々な問題に直面しており、悩みを抱えている。

一 焼き物作りから学ぶもの

二年前の三月十一日の衝撃的な津波の映像から、最も伝わらなかつたものは、空気や匂いだった。私たちの環境は、視覚中心主義で成り立っているが、それは、リアルなものではない。焼き物作りの土や煙の匂いなどを通して、五感を刺激し合いながら共に味わうことに勝る教育はない。

二 リフレクションと夏目漱石

人間は、自ら反省する能力をもっており、行動を深める。このことは、社会も同じで、学習を通して再帰的になっていく。悩まない人間は、再帰的な人間ではない。悩まない社会は、同じようなパターンを繰り返し、破局に導かれる場合もある。漱石は、その問題を中心的なテーマに捉えた。

近代社会は、人間が自由を獲得したため相手も自由になる。そこで、相手の行動を読む時に悩む。そこに、人間と人間の関係の難しさが現れる。

漱石は、幼少時に母親の愛情が薄かったことがトラウマであり、痘痕になったことが、コンプレックスであり、人と人との関係に悩んだ。

三 著書「こころ」から

この小説の中で、「自由と

独立と己を欲しいままにして、この現代に生まれた我々は、その犠牲としてこの寂しさを味わわなければいけない」を見たとき、心が震えた。なぜ、これほどに孤独なのかと考えると、漱石のテーマにいき着く。

さらに、この中で、感銘を受けたのは、「我が師」という言葉である。私は、「我が師」に恵まれた。これは、最大の喜びであった。漱石には、その出会いはなく、その空白を埋めるように「こころ」を書いた。また、私たちに伝えることは、「伝える力と受け取る力」である。伝えることは、人間にとつて、無上の喜びである。伝える、受け取るが成り立つためには、それなりの時間と触れ合いが必要である。教育は、世代を超えた「伝える、受け取る」伝承の連鎖である。

四 三月十一日で考えたこと  
ノンキャリアの人々が日本の社会を最も土台から支えている。本当に漱石が訴えたい人間、あるべき姿の人間を表している。

私たちは、不確実性の時代



を生きている。マニュアル化できない出来事が多く起きている。その中で、「自らの生活を切り開く」のがノンキャリアの人々である。  
「地域」が今後の社会のキーワードになる。地域で子どもを育て、最後に地域への帰属意識が生まれる。地域は、国以上に多様である。多様が成り立つためには、鎖が必要であり、人間と人間の鎖が絆である。  
五 おわりに  
覚える、学ぶ喜びは、悩みが深いほど、学びも大きく、深い。  
子どもは、偏見を受けると、かき消すのに何百倍ものエネルギーが必要である。この時に悩み、そこから学ぶことを考えていく時に、漱石は、大きな意味をもつ。

足跡をつづる、私を記す、形に残す。  
あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか。

本づくり 応援キャンペーン

●規程・表丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示  
●原稿作りのアドバイス ●印刷のお見積もり ●その他、ご相談承ります。 ※書籍での販売をお考えの方も是非お声かけください。  
ご注文・お問い合わせ 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073  
SEKI セキ株式会社  
松山本社/松山市湊町7丁目-1 TEL(089)945-0111  
東京本社/東京都渋谷区代々木3丁目2-8 TEL(03)3377-1230  
支店/大阪・高松 営業所/名古屋・高知 http://www.seki.co.jp

学校生協

冠婚葬祭事業 (株)ベルモニーのご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会は、(株)ベルモニーと提携店契約を結んでおります。

冠婚葬祭のご利用お申し込み時に、学校名と組合員様のお名前をお伝え頂きますと、割引などの特典が受けられます。

※他団体契約との併用はできません。

お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話 (089-925-0555)  
または 都市学校生活協同組合

ふんぞりスケッチ

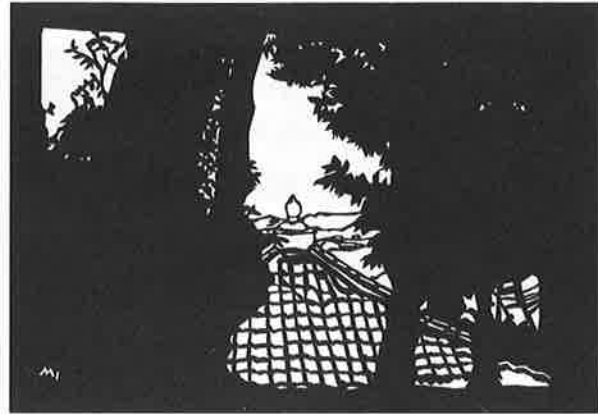
No.363

龍光寺からの眺め



三間中諭 龍光寺  
宇和島市教諭 渡邊 美樹

ます。秋はコスモスが美しく、三間米のおいしい三間町に遊びにいらつしやいませんか。



三間町には、四国八十八箇所のお寺、龍光寺と仏木寺があります。一年生の総合的な学習の時間を使って、お接待の体験学習を行うなど、ふるさとの歴史や文化を学んでいます。三間町にはおもてなしの心が根付いてい

ご冥福をお祈りします

竹本 節様	72歳	西条市広江三六四一	25	11	6
山内 貞行様	83歳	八幡浜市穴井	25	11	6
高橋栄一郎様	102歳	松山市浅海本谷甲八四	25	11	8
佐伯 渡様	88歳	西条市丹原町志川五三	25	11	12
徳永 秀夫様	88歳	伊予郡松前町神崎三	25	11	13
村上 勝利様	99歳	松山市山越三七二六	25	11	19
丹下秀次郎様	87歳	四国中央市三島中央五八二四	25	11	24
高田まゆみ様	49歳	松山市北条辻三六二二	25	11	27

ローカルトピックス

「坂村真民記念館」誕生

七百三十七基

何と、これは、日本を始め世界に建立された真民碑(念ずれば花ひらく)の数である。未登録分を含めると既に九百基にも及ぶという。

これほどまでに広く人々の心を引きつける坂村真民さんとは、どのような生き方をした詩人なのだろうか。その人となりや多くのの方々

に勇気を与えた詩作の数々を発信する拠点が、「坂村真民記念館」として砥部焼の里に誕生した。東日本大震災が発生したちょうど一年後の、平成二十四年三月十一日に。

記念館は、ふんだんに木が用いられ、砥部ののどかな地域や自然に溶け込み、温かみで癒しに溢れている。また、真民さんの世界に浸ることができる空間が設けられている。皆さんも、砥部焼伝統産業会館の目と鼻の先にあるこの記念館で、真民さんの世界に



文教月報編集協力委員 坪内 雅子  
伊予教育会

「えひめ教育の日」推進大会



十一月一日(金)、県民全体で教育を考える「えひめ教育の日」の推進大会を文教会館で開催。田鍋会長あいさつに

続き、教育の日関連写真や「親子のふれあい・つながり」をテーマにしたポスター・作文等の優秀作品の表彰を行った。また、元吉本興業プロデューサー大谷由里子さんの講演「ココロの元氣」のつくり方」では、「人を育て、地域をつくるには自分の心が元氣であること」「MUST(しなければならぬ)」にとらわれず、WANT(何がしたい)



とHOW(どうしたらうまくいくか)で考え、周りを笑顔にすること」との提言をもと、参加者三〇〇余名が教育について考えた。県内七十五の小中高校から寄せられた関連写真は、大会誌や県庁及び文教会館ロビー展で披露した。



「えひめ教育の日」推進フェスティバル

六年目を迎えた推進フェスティバルを十月二十七日(日)、東温市の坊っちゃん劇場とクールスモールで開催。

会場は、小学生による「さくらゆめ太鼓の演奏」、重信中学生による「吹奏楽演奏」、東温高校生による「書道パフォーマンス」、郷土芸能「北方獅子舞」、坊っちゃん劇場事業部のパフォーマンスとミュージカル「げんない」の観劇など、さまざまなイベントで盛り上げ、十一月の教育月間を祝った。愛媛マンダリンパイレーツの選手たちも応援出演した。



開会式 (坊っちゃん劇場)



北方獅子舞



重信中学校吹奏楽

東温高校「書道パフォーマンス」



さくらゆめ太鼓「夢童」



えひめの先生方によって建てられた会館 **ご利用の手引き** **エスポワール愛媛文教会館**

📖 研修会、会議、ご宴会後のご宿泊に ♨️ 名湯道後温泉引き湯  
😊 ご家族、ご友人と当館を拠点に、道後観光はいかがですか。



会議に

各種会議・研修会などに  
少人数から500名様まで

ご宿泊に

		タイプ	宿泊料金 (1名)
一般 個人	洋室	シングル ツイン (2名利用)	3,800円
	和室	(利用人数により)	3,500円 ~5,500円
団体 (20名 以上)	和室 洋室 とも	小学生	1,500円
		中学生	1,800円
		引率者 (教職員、保護者)	2,800円

ご宴会に

忘・新年会、期末慰労会、  
行事打ち上げに

和食、オードブル

3,000円より (飲み放題 2,000円)

○朝食 (和・洋) は+600円、夕食は+2,000円よりご用意できます。

○平日利用は300円引きクーポン有り。

○ご予約は **089-945-8644** (松山市祝谷町1-5-33 愛媛文教会館)

ホームページ <http://www.ehime-bunkyoikaikan.or.jp/>